

教育の窓

以下に、同調査の中で学校に直接関係深い項目について、その結果を示し感想を述べてみたい。

三月にY新聞社による日本の教育に関する全国世論調査(二月実施、対象者は有権者三千人、面接聴取法)の結果が発表された。

それによると教育に対する国民の意識が「詰め込み教育」や「偏差値教育」の批判から「学力の低下」問題へとシフトし始めている(前回調査との比)など、教育観の変化が読み取れる一方、これまでと同様に学校に対しての厳しい声が寄せられている。

これらの調査項目とその結果から、教師は自分の学校の教育について、見直したり今後の在り方を検討したりする上で、参考となる多くの示唆が得られるのではないだろうか。

学校教育の自己点検

―世論調査から―

東京農業大学教授
元文部省主任視学官



渡部 邦雄

「教師不信」は、学校教育そのものの不信につながる。信頼されない教師が何を言っても説得力はない。われわれの毎日の地道な努力の積み重ねを通して、信頼の回復を図る以外に手はないのではないかと、私は考えている。

「教師不信」は、学校教育そのものの不信につながる。信頼されない教師が何を言っても説得力はない。われわれの毎日の地道な努力の積み重ねを通して、信頼の回復を図る以外に手はないのではないかと、私は考えている。

以上、この世論調査を学校改革推進の契機とらえては如何だろうか。

このほり、「身についている学力や知識がきちんと身に付いているかどうか」というのは、「身に付いていない」が(五五%)で、「身に付いている」(三七%)を上回っている。管理職・専門職や六〇歳代の回答では「身に付いていない」がそれぞれ六三%、六一%とさらに高くなっており、立場による学力や知識の要求度の違いがよく分かる。今日話題に上がっているいわゆる「学力低下」の問題とも関係がある。

今回の教育課程の改訂で謳われた「生きる力」の育成や「基礎・基本」の確実な定着を図ることが、この問題の解決への近道と考える。

修学旅行実施事例紹介 13

多種多様な学習テーマによる「自分の生き方を考える」修学旅行

千葉県千葉市立葛城中学校



上高地・大正池をバックにすがすがしいコーラスを

1. 平成12年度修学旅行の概要
 □実施校 千葉市立葛城中学校(三橋藤平校長、生徒数333名)
 □参加生徒数 118名
 □旅行方面 信州(泊3日)
 □実施時期 6月4日～6日

2. 修学旅行の計画と取組み
 □目的 自分たちの住む地域と異なった風土・歴史・文化をもつ信州を舞台に、自分たちの追求したいテーマを主体的に設定し、様々な学習をできるようにする。同時に地元の



そば打ち・そば切り体験

人々の生きる姿に接することで、自分の生き方を振り返る。
 □計画への取組み (1)体験学習グループは、生活班を中心としたグループ編成を見直し、生徒個々のテーマをもとに共通するメンバーで班を編成。最少で2人の班から5人の班まで合計34のグループ編成を行った。また学習テーマと別に、出先の保護者に協力を依頼し、保護者のツテにより、リンゴ農家・そば農家・アンズ農家等数多くの紹介を得た。

農家探訪。そのため信州出身の保護者に協力を依頼し、保護者のツテにより、リンゴ農家・そば農家・アンズ農家等数多くの紹介を得た。
 □体験学習の内容・テーマ
 ・農家体験では出荷準備や耕作、摘花、苗の植付け作業等を体験。
 ・市民や職場で働いている人へのインタビューによる聞き取り調査等。
 ・訪問施設での見学と実体験。

□体験・実践の成果
 (1)農家体験では、非常利での体験が出来たことにより、本場の農家の皆さんの生き方に接することが出来た。
 (2)生徒個々の興味・関心によるグループ編成が積極的な活動を促した。
 (3)「学習テーマ」と「出会いのテーマ」を明確に分けて立案させたことにより、後者の部分で「生き方」について考えることが進路学習の側面も取りこめた。

| 方面 | 学習テーマ |
|--------|--|
| 上田・菅平 | ○アンズ農業の工夫や栽培方法 ○他産地に打ち勝つリンゴ栽培の工夫 ○高冷地農業の栽培の工夫と問題点 など5テーマ |
| 長野・小布施 | ○信州ソバの工夫と問題点 ○長野オリンピックの市民に与えた影響を探る ○小布施の栗はなぜ昔から有名なのかを探る など8テーマ |
| 諏訪・伊那 | ○茅野市の農業とその工夫 ○諏訪の精密機械工業の技術とその問題点 ○諏訪大社の歴史に迫る など9テーマ |
| 安曇野・大町 | ○出荷できるワサビになるまでの課程を学ぶ ○ダムを作った人たちの苦労や情熱 など4テーマ |
| 木曾 | ○植物の生息の仕方は千葉と比べてどう違うのか ○島崎藤村が綴った小説の舞台で彼の生き方を探る など8テーマ |

●修学旅行/林間学校/スキー体験学習

奥日光の自然と仲間たちとの語らい……

夏は林間学校、冬はスキー
 自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください
 鉄筋3階建/小学生550名/中学生550名/高校生450名収容/大浴場あり

奥日光高原ホテル

〒321-1662 栃木県日光市湯元温泉
 TEL. 0288(62)2121(代表)

古代文化 邪馬台国ルート 吉岐へ……

魏志倭人伝に一支国の名で記されている。古代大陸交流の要としてクニを構えていた吉岐。イルカとの共生をはじめ自然とのふれ合いが出来る絶好の教育旅行の場としてお勧めします。

吉岐教育旅行受入協議会事務局
 九州郵船

TEL (092) 281-0831
 FAX (092) 281-0444
 URL <http://www.mapion.co.jp>

豊かな自然が息づく湖尻高原の中心。箱根高原ホテルは、深い緑の中に700名収容の大ホールや、中小の研修室など、数々の施設が整っています。その他体験コースもいろいろ。心にくる思い出づくり。感動づくりに素晴らしい環境です。

箱根高原ホテル

湖尻高原の大自然に抱かれて
 ハートフル・コミュニケーションをお約束します。

〒250-0500 神奈川県足柄下郡箱根町湖尻
 ☎(0460)4-8595代 FAX.(0460)4-9488